

50年、100年後の財産となる地域貢献に取り組む



当組合は、絶景を誇る露天風呂として人気の「ほったらかし温泉」の一角で売店を運営しています。

「ほったらかし温泉」には年間40万人が訪れますが、その9割が県外からの観光客です。その集客力を活かし、組合では地元の農家やワイナリー等と連携して、山梨の特産品である果物やワインなど厳選した地場産品を売店に並べ、県外からのお客様に「山梨の魅力とこだわり」を発信するアンテナショップになることで地域貢献につなげたいという想いで取り組んできました。

年々お客様の趣味や趣向が多様化していることから、スタッフがこだわり抜いて厳選した山梨の逸品をこれまで以上に積極的に全国に発信するために、今年はインターネットによる販売にも取り組んでいきます。

また、私が専務理事を務める「一般社団法人花咲爺(はなさかじじい)」では、ほったらかし温泉を拠点とした「花の山構想」を進めています。温泉の周辺には山桜が自生しており、これを基盤に山梨市の一角に日本を代表する山桜の新名所を作る構想です。

現在、山梨県の「里山整備事業」を活用して、約55万坪の広大な山林に5ヶ年計画で3万本の山桜や大山桜などの苗木を植える予定です。既に自生している多くの山桜に大山桜を交えた苗木が育って主役となる頃には、国内外の多くの人に毎年繰り返し訪れてもらえるような山梨県の新たな観光名所になると確信しています。

私たちは、観光施設での地元産品の物販を行う一方で、地域の活性化と発展に繋がる土台づくりにも取り組んでいます。この取り組みが地域の次世代の人達に広がっていき、50年後、100年後のこの地域の財産となることが私の理想です。